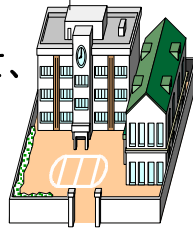


# 浩然

「思いやりを持ち 健やかで 確かな学力を  
身に付け ふるさとを愛する生徒の育成」  
香美町立村岡中学校通信  
No. 1 2016. 4. 11. (Mon.)

## 「思いやりを持ち 健やかで 確かな学力を身に付け ふるさとを愛する生徒」の育成を目指して

平成28年度がスタートしました。7日に始業式、8日の入学式を経て、1年生35名・2年生47名・3年生50名総勢132名の船出です。あらためまして今年度から校長を務めさせていただく才田 覚です。小代中学校より転任して参りました。どうかよろしくお願いいたします。



さて、私たち教職員にとって、生徒たちの明るい笑顔こそが一番の喜びであり、拠り所でもあります。年度が変わって「学年が進む」ということは、子どもたちの気持ちや行動を変え、昨日までとは違う自分になるチャンスです。確かに、自分の心の中でどんなに「変わろう!」と思っても、友達や同級生の手前、どうにもできないプライドやシレンマもあるでしょうが、「もう三年生になったし…」とか「中学生だし…」と口に出すだけで、今までの自分を変えることは意外に容易なことなのです。

まだ数日間ですが、生徒たちと生活していく中で、私は村岡中学校や生徒たちに大いなる可能性を感じています。もちろん課題もありますが、期待を込めて、生徒たちに次の言葉を贈ります。

心が変われば 態度が変わる      態度が変われば 行動が変わる  
行動が変われば 習慣が変わる      習慣が変われば 人格が変わる  
人格が変われば 運命が変わる      運命が変われば 人生が変わる

いい意味での、自己変革の年にしたいですし、して欲しいと願っています。

ところで、今年度も学校教育目標として『思いやりを持ち、健やかで確かな学力を身に付け、ふるさとを愛する生徒の育成』と掲げました。ここ数年来続いている目標です。

「子どもは地域で育てられる」と言われます。地域には、激動の人生を生き抜いてこられた先輩も多くおられます。考え方や生き方の異なる同世代の大人もいます。「地域で育てられる」ということは、そんな大人から多くのことを学ぶということです。時には叱られ、時には褒められ、また時に地域の行事や活動に加わる中で、体験を通して人として大切なことや伝統・文化を受け継いでいくのです。

『子どもは、親の言う通りにはならないが、親のする通りにはする』という言葉があります。いつの時代でも、子どもは辛く悲しいことに免疫がありません。滅入る、落ち込む。体験が乏しいので当然のことです。人生には、嬉しいことや楽しいこともあります。しかし、辛いことや悲しいことも決して少なくはありません。そんな時、身近に悲しみや喜びを分かち合ってくれる人がいたら、どんなに心強いことでしょうか。良いこと悪

いことすべて、大人は子どもの手本です。教科書です。そして、最も身近にいる人生の教師が「親」と「家族」です。まず大人である親が、家族が、しっかりと地域に根を下ろすことから始めたいものです。家族が地域の人になり、我が子が地域の子になるということです。地域の大人たちの目の中で、学校や家庭だけでは伝えきれない大切な「何か」を手にし、子どもたちは大きく育っていくのだと私は思います。

この一年間、私たち教職員も一生懸命子どもたちと関わっていきます。ご支援・ご協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。

## 退職・転出入の教職員

### 【退職】

○ 校長 太田 清美 香美町教育委員会 指導主事へ

### 【転出】

○ 教頭 中瀬 明彦 香住第二中学校 校長へ  
○ 養護教諭 橋岡 博子 香住第二中学校へ  
○ 講師(国語) 藤井 千尋 香住第一中学校教諭に新採用  
○ 講師(理科) 藏野 光 香住第一中学校へ  
○ 講師(社会) 谷 洩 幸海 香住小学校 SAへ  
○ 教諭(英語) 田中正人 小代中学校へ  
○ スクールカウンセラー 長坂 由香 香住第二中学校へ  
○ 校務員 岩根 温子 兎塚小学校へ

たいへんお世話になり、ありがとうございました!

### 【転入】

○ 校長 才田 覚 小代中学校より  
○ 教頭(保健体育) 松下 昇五 豊岡市立日高東中学校より  
○ 養護教諭 渡辺 泉 香住第二中学校より  
○ 講師(国語) 松村 沙紀 香住第一中学校より  
○ 事務職員 山田 千聖 香住第一中学校より  
○ スクールカウンセラー 石橋 美鶴  
○ 校務員 田中 久美子 村岡小学校より

### 【新規任用】

○ 講師(英語) 森田 真成 尾林教諭の産休代替  
お世話になります。よろしくお願いいたします!



本年度の職員組織・4月の行事予定につきましては、各学年の通信をご参照下さい。さしあたり 4/14・15・18は家庭訪問です。お世話になります。

## み・そ・あ・じ

「みだしなみを整え、そうじに熱心に取り組み、あいさつを進んで行い、じかんを守る」



あたりまえのことをあたりまえにしよう、ということです。学校において最も大切な使命は、子どもたちによる学習習慣と生活習慣を身につけさせることだと私は考えます。「よい習慣」が身につけば、自ずと力はついてくるものです。もちろん、学校だけでなく、家庭との連携なくして「よい習慣」は身につけません。どうか、お家の方でもご協力をお願いします。(文責:才田 覚)

